



研究テーマ

双頭の獅子頭、平成の加賀獅子の制作
—伝統行事等地域交流研究事業—

目的・概要

金沢及びその近郊では、藩政期より町や村単位で、祭りに獅子舞を行い賑わっていたが、今日の社会変化や若い世代の関心の薄さから、獅子舞を実施する地域が減少している。本学では、これら貴重な地域伝統芸能の振興を願い、平成20年度より、本学の持ちうる制作技術を最大限活かし、新たな形で平成の加賀獅子の制作に取り組むこととした。これまでに双頭の獅子頭、蚊帳及びライティング等内部装置を完成させ、今後衣装や武具を制作していく予定である。

委託者

金沢市

期間

平成20年度～平成23年度

担当教員

工芸科	中川 衛 教授
彫刻専攻	石田 陽介 教授
製品デザイン専攻	浅野 隆 教授
一般教育等	横川 善正 教授
一般教育等	高橋 明彦 教授
日本画専攻	佐藤 俊介 准教授
大学院ファッションコース	大野 悠 講師
日本画専攻	松永 敏秀 実習助手(21年度)
彫刻専攻	中西 祐喜 実習助手(21年度)

参加学生

修士課程日本画コース2年	山田紗英子(22年度)
修士課程彫刻専攻1年	原田昌典
修士課程製品デザインコース2年	新井大斗(22年度)

Process

平成20年度
金沢及びその近郊の獅子舞の状況調査

平成21年度
獅子頭のデザイン決定
獅子頭の制作
蚊帳のデザイン決定

平成22年度
蚊帳の制作
獅子の内部装置の制作

平成23年度
5月26日 記者発表
6月4日、5日 百万石まつりに合わせて一般公開
(於:金沢城公園三の丸広場)



Concept

獅子頭は、現在型と未来型の双頭
①現在型
生々しくもユーモア感を感じさせるデザインで、手作り感を大切にデザイン
②未来型
金属的な質感による近未来的な面持ちの勇猛なイメージにデザイン

蚊帳は強度や色彩に拘り化学繊維を使用した左右非対称のデザイン

内部装置は獅子の眼球や胴体部分全体にLEDライトを配し、音響と共にコンピュータ制御

